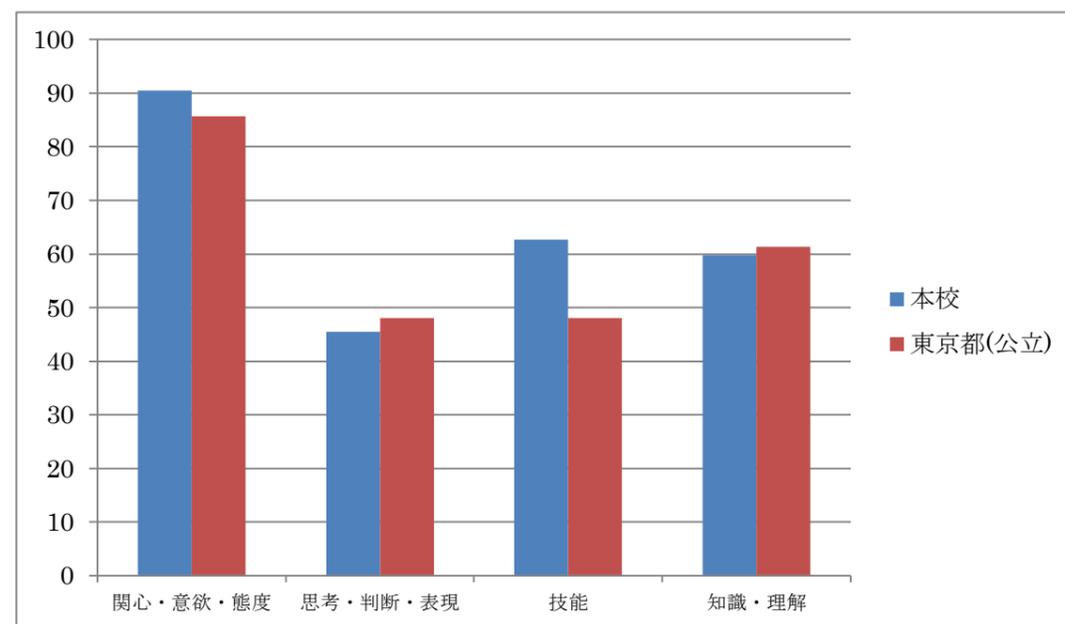


数学(児童・生徒の学力向上を図るための調査)

1 観点別の正答率についての分析

(1) 数学A：教科の内容

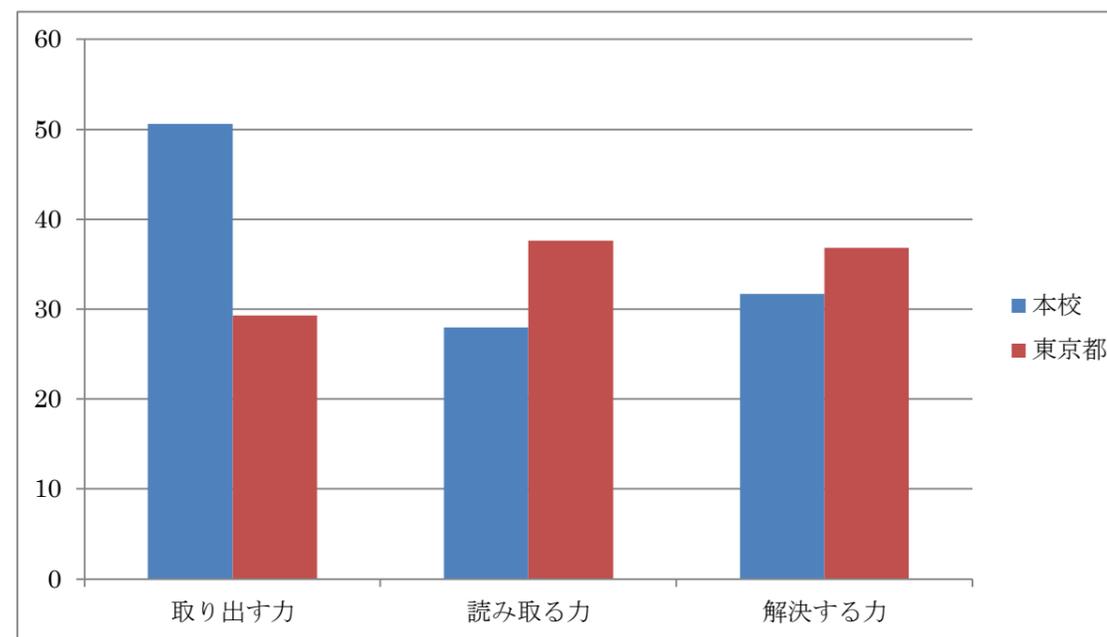


- ①技能に関しては東京都の平均を大きく上回ったのは、習熟度別で計算力の向上がなされたと考えられる。
- ②思考・判断・表現についてはやや下回る結果となった。

結果からの考察

技能面が東京都の平均を大きく上回っている。これは習熟度別授業により、いままで計算が苦手だった生徒の計算力が格段に上がったからだと考えられる。また連立方程式のテストなど、定期考査とは別に技能を育てる活動を行ったからだと考える。

(2) 数学B；読み解く力に関する内容



- ①取り出す力に関しては東京都の平均を大きく上回った。
- ②読み取る力と解決する力に関しては下回る結果となり、学び合い活動の充実を図る必要性を感じる。

結果からの考察

読み取る力と解決する力にやや欠ける結果となっている。これは学び合いなどのグループ活動を通して、問題を多面的に読み取り、解決する活動を活発に行う必要性を感じる。

2 指導改善ポイント

(1) A：教科の内容

まだまだ小テストのような取り組みが少ないのでそれを増やし、より技能を育てたい。また、思考力・判断力・表現力は学び合い活動や、生徒が先生となり問題の解説をするなどの活動を通して育てていく。

(2) B；読み解く力に関する内容

読み解き、解決する力は問題文をどのように読み、解いていったのか過程を書かせ、発表させる機会を設ける。また学び合いで様々な考えに触れ、多面的に問題を解決する力を育てる。